科学技術振興機構報　第１５１９号

令　和　３　年　９　月　７　日

東京都千代田区四番町５番地３
科学技術振興機構（ＪＳＴ）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL　https://www.jst.go.jp

次世代研究者挑戦的研究プログラムにおける
新規プロジェクトの決定について

ＪＳＴ（理事長　濵口 道成）は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」における新規プロジェクト４０件を決定しました（別紙１）。

本事業は、博士後期課程の学生が研究に専念できる環境を整備し、卓越した博士人材の育成や輩出を目指す事業です。博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率が減少傾向にあり、危機的な状況が指摘されています。そうした状況を踏まえ、本事業では、既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程の学生の選抜などを行う事業統括を選定し、当該事業統括により選抜された学生に対する生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツの提供をはじめとする多様な支援を行います（参考）。

今回の募集は、Ａ日程として令和３年６月１１日（金）から７月１５日（木）まで行い、５３件の応募がありました。募集締め切り後、外部専門家で構成された委員会による審査を実施し（別紙２）、その結果を基に４０件の支援プロジェクトを決定しました。

なお、Ｂ日程の申請締め切りは、令和３年９月３０日（木）正午【厳守】です。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。
ホームページＵＲＬ：https://www.jst.go.jp/jisedai/index.html

＜添付資料＞

別紙１：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧
別紙２：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧
参　考：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」募集概要

＜お問い合わせ先＞　※担当部署名を変更しました（令和３年９月９日）

科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部
次世代研究者挑戦的研究プログラム推進室
〒102-8666 東京都千代田区四番町５番地３
中村 幹（ナカムラ ツヨシ）
E-mail：jisedai-application[at]jst.go.jp
※お問い合わせは電子メールでお願いします。

別紙１

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

※名古屋大学／岐阜大学の今年度支援予定人数に誤りがあったため修正しました

（令和３年１２月１日）

（今年度支援予定人数順）

大学名	事業統括	プロジェクト名	今年度支援予定人数
東京大学	大越　慎一	グリーントランスフォーメーション（ＧＸ）を先導する高度人材育成	６００
京都大学	江上　雅彦	京都大学大学院教育支援機構プログラム	５１５
東北大学	山口　昌弘	東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト	５１１
北海道大学	石森　浩一郎	Ｓｏｃｉｅｔｙ　５．０を牽引するＤＸ博士人材育成のための研究支援プロジェクト	４６７
大阪大学	森井　英一	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	４２０
筑波大学	加藤　光保	学問分野の壁を超えて多様な人材と共創できるトランスボーダー型価値創造人材育成プロジェクト	３５１
九州大学	君塚　信夫	未来を拓く博士人材育成のためのオープンプラットフォーム型教育システムの構築	３４９
名古屋大学／岐阜大学	藤巻　朗／植松　美彦	東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業	３２０→３０５
慶應義塾大学	武林　亨	未来社会のグランドデザインを描く博士人材の育成	２６３
広島大学	安倍　学	広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム	１９９
東京工業大学	神田　学	殻を破るぞ！越境型理工系博士人材育成―総合知の創造と社会変革に貢献する―	１８７
早稲田大学	笠原　博徳	早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム	１８０

千葉大学	中山 俊憲	全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト	１５０
金沢大学	中村 慎一	突破力をもって分野の壁を破壊し、新たな価値を創造する次世代精鋭人材創発プロジェクト	１２０
東京医科歯科大学	礒村 宜和	ＴＭＤＵ卓越大学院生の挑戦的研究支援プロジェクト	１２０
東京農工大学	五味 高志	ＦＬＯｕＲＩＳＨフェローシップ事業	１２０
大阪市立大学／大阪府立大学	重松 孝昌／河北 哲郎	リゾーム型研究人材育成プログラム	７０
熊本大学	高島 和希	Ｗｅｌｌ－Ｂｅｉｎｇ 社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム	６０
新潟大学	本田 明治	未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト	５０
立命館大学	徳田 昭雄	立命館先進研究アカデミー（ＲＡＲＡ：Ｒｉｔｓｕｍｅｉｋａｎ Ａｄｖａｎｃｅｄ Ｒｅｓｅａｒｃｈ Ａｃａｄｅｍｙ）次世代研究者育成プログラム	４５
山口大学	堤 宏守	“シン・文殊グループ”を核とする異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト	３６
岡山大学	那須 保友	岡山大学次世代研究者挑戦的研究事業（ＯＵ フェローシップ タイプ Ｂ）	３０
同志社大学	塚越 一彦	同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト	３０
北陸先端科学技術大学院大学	山口 政之	未来創造イノベーション研究者支援プログラム	３０
電気通信大学	米田 仁紀	独自ネットワーク形成を行う、開発主導型博士学生研究・教育支援プログラム	２４

徳島大学	安友 康二	研究クラスターを核とした学際的イノベーション人材の育成 －徳島大学うずしおプロジェクトー	２４
名古屋市立大学	澤本 和延	グローバル未来都市共創に資する次世代研究者エンパワメントプログラム	２０
京都工芸繊維大学	吉本 昌広	京都産学共創 異分野融合人材育成フェローシッププログラム	１８
東京薬科大学	林 良雄	未来医療創造人育成プロジェクト『ＢＵＴＴＯＢＥぶっとべ』～Ｂｅｅｆ Ｕｐ Ｔｏｙａｋｕ Ｔａｌｅｎｔｓ ｔｏ ｇｏ ＢＥｙｏｎｄ ｔｈｅ ｂｏｒｄｅｒ	１８
三重大学	金子 聡	環境循環型社会に資する地域と連携した若手研究者育成支援	１６
青山学院大学	黄 晋二	ＡＧＵフューチャーイーグルプロジェクト（ＡＧＵ Ｆｕｔｕｒｅ Ｅａｇｌｅ Ｐｒｏｊｅｃｔ）	１５
東京農業大学	志和地 弘信	グローバルで食料生産向上に挑戦する高度人材養成包括的プロジェクト	１５
奈良女子大学	遊佐 陽一	奈良女子大学博士後期課程学生支援ＳＧＣ＋（Ｓｈａｔｔｅｒｉｎｇ ｔｈｅ ｇｌａｓｓ ｃｅｉｌｉｎｇ ａｎｄ ｂｅｙｏｎｄ）プロジェクト	１４
名古屋工業大学	井門 康司	複数指導教員体制による新しい研究分野を開拓する次世代研究者育成プロジェクト	１２
山梨大学	西田 継	ＶＵＣＡ時代対応型博士人材育成プロジェクト	１１
総合研究大学院大学	青野 重利	「ＳＯＫＥＮＤＡＩ 特別研究員（挑戦型）」制度による次世代研究者の支援・育成の推進	１０
東京都市大学	田口 亮	アジア大洋州地域の発展をリードする次世代のグローバル研究者育成プログラム	１０
宮崎大学	水光 正仁	宮崎大学の異分野融合性の高さを活用した次世代研究者支援プロジェクト	１０

甲南大学	村嶋　貴之	地域連携プラットフォームを活用する産学・官学連携インターンシップによるトランスレーショナル人材の育成	５
奈良先端科学技術大学院大学	飯田　元	「先端科学技術融合分野におけるイノベーティブ博士人材支援プロジェクト（ＮＡＩＳＴ　Ｔｏｕｃｈ　Ｓｔｏｎｅ）」	５
		合計	５，４５０→５，４３５

別紙２

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧

役割	氏名	所属・役職
委員長	安浦 寛人	九州大学　名誉教授
委員	伊藤 耕三	東京大学 大学院新領域創成科学研究科　教授
委員	勝 悦子	明治大学 政治経済学部　教授
委員	神成 文彦	慶應義塾大学 理工学部　教授
委員	工藤 貴子	群馬大学 大学院理工学府　教授
委員	小石 龍太	第一三共ＲＤノバーレ株式会社 トランスレーショナル研究部　主席
委員	小泉 周	自然科学研究機構　特任教授
委員	城山 英明	東京大学 大学院法学政治学研究科　教授
委員	杉山 直	名古屋大学　副総長
委員	仲 真紀子	立命館大学 ＯＩＣ総合研究機構　特別招聘研究教員（教授）
委員	長谷山 美紀	北海道大学　副学長／大学院情報科学研究院　研究院長

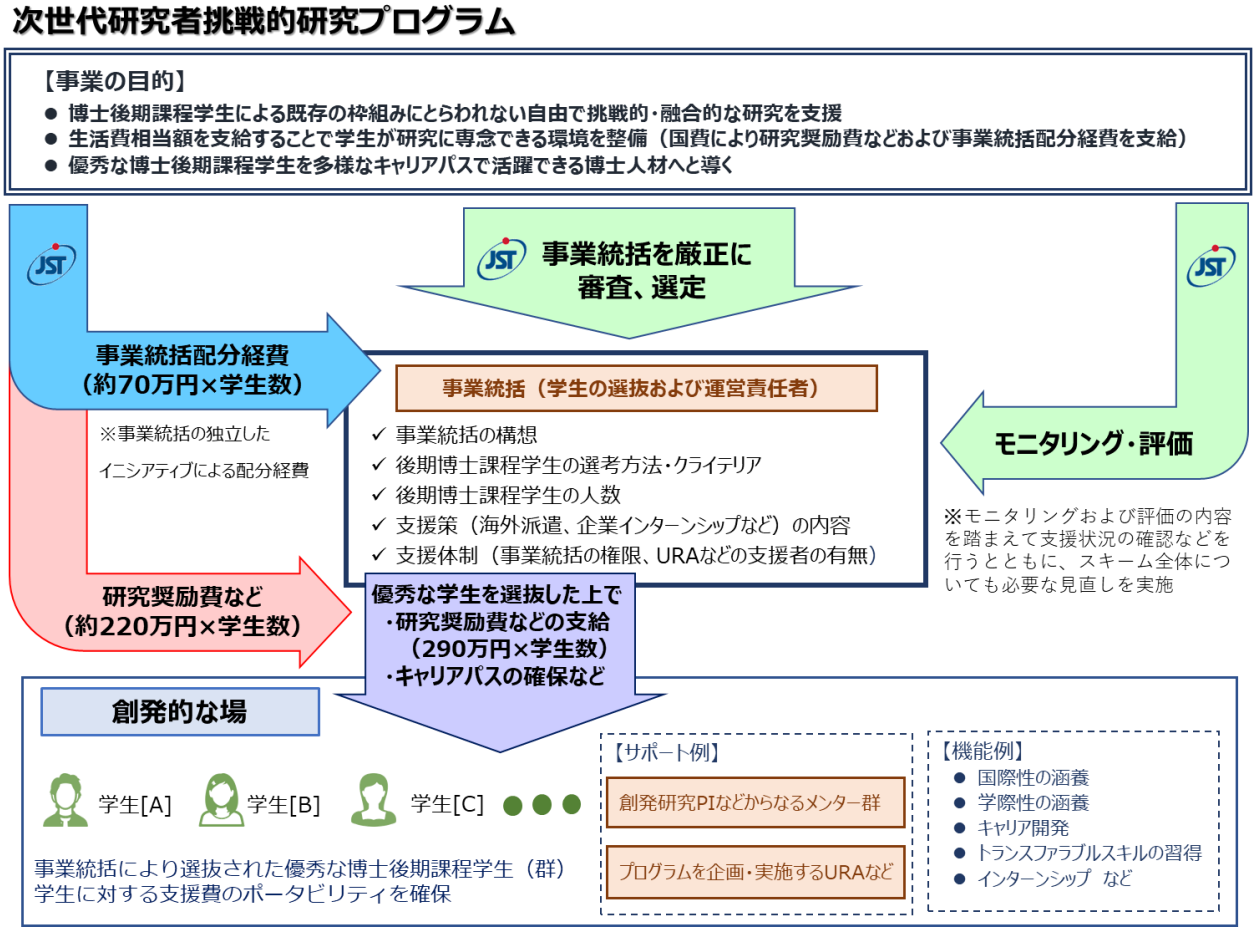
参考

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」募集概要

１．事業の趣旨

博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率に減少傾向が見られ、危機的な状況が指摘されています。優秀な志ある博士後期課程の学生への経済的な支援を抜本的に強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備するなど、日本の博士課程教育システムの改革が強く求められています。

本事業では、このような状況を打破するため、新たに、既存の枠組みを越えて選抜された優秀な博士後期課程の学生に対して生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツなどの支援を提供します。



２．事業の概要

博士後期課程の学生への支援構想である「博士後期課程学生支援プロジェクト」を提案し、その提案を各大学で責任者として実施する事業統括を募集します。

当該事業統括により選抜された優秀な博士後期課程の学生には、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念できる環境を提供します。併せて当該学生に対しては、生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性や学際性の養成、トランスファラブルスキルの習得[注)]、インターンシップなど）をはじめとするさまざまな支援が提供されます。

なお、これらの取り組みを円滑に実施するため、事業統括は、自身の業務遂行を支える運営チームを編成することとします。

注）トランスファラブルスキル

社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いものを指す。

３．事業の特徴

本事業は、修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率の減少の背景として指摘される、経済面やキャリアパスの不安などを解消するため、生活費相当額および研究費支給やキャリア開発・育成支援などを行うのが特徴です。

本事業を通じ、①優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を抜本的に強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備し、③それらに資する日本の博士課程教育システム改革の推進を目指します。

４．実施経費・実施期間

（１）実施経費

博士後期課程学生１人当たりの支給額は２９０万円程度／年
（生活費相当額＋研究費）
※学生１人あたり下限を２２０万円とし、事業統括の裁量により変動

（２）実施期間

最大５年度（４年制の場合は最大６年度）

（３）募集期間

Ａ日程
令和３年６月１１日（金）から７月１５日（木）正午
Ｂ日程
令和３年６月１１日（金）から９月３０日（木）正午